

メダカの赤ちゃん たなか踏基

ある日家内が何を思ったか、近くのスーパーでメダカを五匹買って来た。だが一日で死んでしまった。

「水道のカルキ入りの水で飼ったから・・・」と日向水にして一日放置したり、一旦沸騰させてカルキ抜きをするべきだったと悔やんでいた。

飼った動物といえはインコを飼い出してから、もうかれこれ三十数年経過している。今我家では、個性の異なる小型のルリコシボタンインコと、中型のオカメインコを一匹ずつ飼っている。一時金魚も飼ったことがあり、その証拠に鉢が今も残っている。

何故家内にとって今メダカなのか？

菩提寺である群馬の光明寺に、お盆で出かけた折、「道の駅」岡部でメダカを売る露天を行きに見つけた。メダカが欲しいと家内が言うので、態々帰りに立ち寄り、白メダカ六匹、緋メダカ十四匹購入した。

昔、近くの川原にいけば何処にでもメダカが群れていて手拭ですくって、メダカ捕りをした記憶がある。こうした経験は、シニア世代なら誰でも覚えがあるに違いない。そういえば小川や水辺に水馬あまひまはみられても、農薬汚染のためかメダカを見掛けなくなつて久しい。メダカも熱帯魚と並び、鑑賞魚に格上げされたかのような感すらする。そんな懐かしさでメダカ屋さん、人が寄るのだと単純に思っていた。

あの時は確か、亡母が愛用の古い鏡台を、住職にお願いして霊板祈祷をしてから、処分する予定で車に積んでいた。鏡台の除霊祈祷直後のことである。

家内と二人で車に運ぶ際、鏡の部分ポッキリと付け根から折れ、地面に落下し鏡が砕け散った。一瞬青くなつて（自分の顔を写したその鏡が割れた！母が怒つたか？）と悔やんだ。でもその時（形ある

ものは必ず滅するのだから、心配せずに私の形見の鏡台を処分して良いよ！亡母の声を聞えるような気がした。鏡の破損は、躊躇ためらわずに鏡を処分しても良いとの無言の母の教えだと解釈した私である。

今度は白メダカと緋メダカを別々の容器で飼った。家内と私は張切つて、近くのホームセンターで水草やカルキ抜き用の薬剤を購入、家内は別にペットショップで熱帯魚飼育等に使用する、散気の道具（通称ブクブク）を購入、今度は水代えにも注意した。

容器とメダカに合せ、小容量のブクブクであったが、通電し散気を始めた途端！シヨックで緋メダカ二、三匹がコロットひっくり返つて死んだ。メダカは敏感な魚と知る。水代えにも注意した。にも関わらず、一匹又一匹と死に遂に白メダカ一匹になった。

メダカ屋に直ぐに電話、状況を話しメダカの代替を要求（死んだら何時でも交換しますよ）と言ったからだ。来る日曜日、再度「道の駅」岡部に出掛け、購入時と同数のメダカを買って帰った。飼ひ方のノウハウを店主から聞く。メダカが死んだら、極少量の塩を入れる・・・ペットショップでは、ブクブクを必ず使用せよと購入時に買わせるが、これはメダカの場合は全く不要だと・・・容器も持参して、このガラスの容器では小さいか？を問う。メダカ屋では大型の水槽で飼っていた事と。家内の友人が、メダカを糞で飼っているという情報を聴取したからだ。

ホームセンターに行つて、広口の容器、睡蓮の鉢と糞を新たに買う。今度は酸素と接する面積が広いので、これで大丈夫と家内も私も思っていた。

ところが・・・前回同様メダカは一匹又一匹と死んだのである。メダカの動向が毎日気になっていた。

私は執筆中の小説の、補強取材で友人と大町、白馬、小谷界隈の「塩の道」に出掛けた時のことである。民宿ヒュッテ・アルプ入口で、何と私のザック

の紐が二本共ブツリと切れた。一本なら未だしも、二本同時とは・・・前回の亡母の鏡の件と言ひ、今度のザックの紐と言ひ、これは何等かの奇妙な予兆か？私は直ぐに携帯で家内にメールした。

△南小谷駅下車、千国コース約15km歩く。ポツカや牛方の苦勞や気持ち少しわかつた。大変良い体験をした。こちらは既に秋の気配。明日は梅池。ザックの紐が切れたメダカは元気か？×二匹死んだ！水代えが効をそうして、広いタライでスイスイ泳いでいるわ。そつちはもう秋？嫌だわ！

やはり死んだか！他は大丈夫そうだと安堵したのも束の間。家に戻るとメダカは次ぎ次と死んだ。（構いすぎるとはいいですか？暫く放つておいたらどうですか。御ついでの折に来られたら、代替メダカを差上げます）家内の電話の問いに対してメダカ屋の返事である。△お彼岸にお寺に行くから、その時にまた寄つてメダカ買いましょ。それで死んだらもうメダカは飼わないわ！可哀想だから・・・

家内の独り言に私も同意した。ところがまたも・・・不思議な現象が起つた。奇妙な予兆はこれだった。あれは、誘われるままに高校同窓だったハンドル名孤狼凜さんにネット仲間を紹介され、一緒に中山道・木曾路のウォーキングをした時のことである。

例によつて、携帯で家内にメールした。

△昨日塩尻、電車乗り継ぎ15km。今日落合まで11km。内訳は南木曾、妻籠4km。馬籠、落合7km×沢山歩くのね。上尾は雷雨凄かつた！メダカ死んで全部いなくなつた。赤ちゃん二匹泳いでいる。意味不明のメール（赤ちゃん二匹？）。帰宅して全て了解。タライの中の輪廻転生、芥子粒大のメダカの赤ちゃんの誕生を目の当たりにした。実は死んだメダカの何れかが、産み落した卵が孵ふつたのであつた。家内が喜んで孵化ふかの状態を説明してくれた。了